

令和6年 4月12日 (金)

あさひの日だまり

NO.3

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～元気に1学期が始まりました～

緊張することが多いですね



桜の下を笑顔で登校

桜が咲き始めました。新入生を迎え在校生も進級し、子どもたちは毎日桜の花のように晴れやかな気持ちに包まれて学校へ来ていると思います。一方で、節目のこの時期は緊張感にも包まれます。子どもたちはだんだんと疲れがたまってきます。家に帰るともしかするとぐたっとした感じになっているかもしれません。「何やってるの、宿題はしたの?」と言いたくなるのですが子どもたちは学校で頑張っています「疲れたんだね、ご苦労様」と一言声をかけてあげてください。

子どもたちにとっては大変な時ですが、私は緊張感は大切だと思っています。節目のこの時期はそれまでの習慣を自分の意思で変えることができるチャンスです。そして、自分を変えるにはエネルギーが必要です。緊張感がそのエネルギーになるように思うのです。子どもたちは、「自分のこんなところを変えたい

な」と自分なりに考えているものです。この時期がそのチャンスです。もし自己の変容の機会となれば一生の宝物です。今回そんな素敵なスタートが切れたなら素晴らしいなと思いますし、私たちも子どもたちと会話をしながらそつと後ろから背中を押してあげたいと思います。

写真は学校のあちこちで、嬉しそうな子どもたちの表情に出会います。そのいくつかを紹介させていただきました。

桜の下で笑顔の昼食

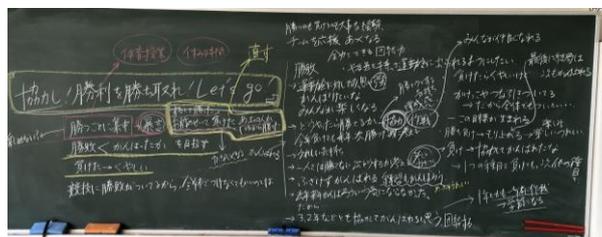


1年生は笑顔で下校



～6年生が本気で考えてくれています～

運動会に点数をつける?



左の黒板は、6年生が運動会に勝敗をつけるかどうかに関して話し合ってくれた様子です。「勝敗をつけると本気で頑張るし、みんなで協力できる」や「勝敗よりも一生懸命頑張ることが大事」といった意見が書かれています。本気で考えてくれた跡が読み取れます。私たちは、子どもたちが出してくれた答えを尊重したいと思っています。